

えんどう しゅう さく

遠藤周作

* 大正12年3月27日 東京生まれ

* 平成8年9月29日 没 (73歳)



写真提供:遠藤周作文学館

○ 略歴

- 昭和22年 「カトリック作家の問題」を『三田文学』に発表
(24歳)
- 昭和25年 フランスへ留学 リヨン大学で現代カトリック文学を研究 (28年 帰国)
(27歳)
- 昭和30年 「白い人」で芥川賞受賞
(32歳)
- 昭和41年 長崎を舞台にした「沈黙」を発表
(43歳)
- 昭和60年 平成元年まで日本ペンクラブ会長
(62歳)
- 平成7年 文化勲章受章
(72歳)
- 平成12年 外海町(現長崎市)に『遠藤周作文学館』が開館

○ 主な受賞歴

- 昭和30年 第33回芥川賞 「白い人」
- 昭和33年 第5回新潮社文学賞 「海と毒薬」
第12回毎日出版文化賞
- 昭和41年 第2回谷崎潤一郎賞 「沈黙」
- 昭和53年 日本芸術院賞
- 平成6年 第35回毎日芸術賞 「深い河(ディープ・リバー)」

○ その他の代表作

狐狸庵閑話(昭45)、イエスの生涯(昭48)、走馬燈(昭52)、侍(昭55)

キリストの誕生(昭53)、かくれ切支丹(昭55)、女の一生 一部 キクの場合(昭57)